



皆さんこんにちは！

地域おこし協力隊の渡辺です。

今月の集落支援だよりでは、集落の共同作業について紹介します。



地域おこし協力隊 集落支援担当
わたなべ たかひろ
渡辺 貴洋 隊員

熱中症に注意！

集落を訪問すると、田畑仕事やお茶飲み歩きをする姿が目に残ります。地域の元気は個人が元気にしているからこそだと思います。自分の好きなことを続けることや、隣近所と楽しく話すことは元気の源だと思えます。

ただ、今年の夏も始まるよくな暑さが続いています。暑さも益までと聞きますが、秋の知らせはまだ聞こえてきません。

今年も新型コロナウイルス感染症予防対策のため、マスクを着用する頻度が多くなっています。屋外だけでなく屋内でも熱中症になることがありますので、無理をせず水分補給や休憩をこまめに取るように心がけましょう。

夏の草刈り

草木の成長は早いもので、あつという間に青々と伸びてしまします。奥川地区の集落支援拠点施設の周りもうっそ

うと生い茂り、先日草刈りを行いました。集落の皆さんが慣れた手つきで草刈り機を使い、草を刈る姿を見ていると、きれいに刈るコツをつかみたいと憧れてしまします。夏になると、各集落で草刈りやクリーンアップ活動があります。今年は、中町集落と重点集落のひとつである大舟沢集落の人足に参加しました。特に大舟沢集落では、人が少ないとできることが限られてきてしまうと実感しました。集落の負担を減らし、ポ



大舟沢集落での人足



中町集落での人足

ランティアの協力などをお願いしながら維持していくことが必要かもしれません。

中町集落では、町内にいる地域おこし協力隊や滞在アーティストなどに声をかけ、ボランティアを募りました。日差しが照りつける暑い中で作業を行いました。若い人が来ると高齢者が多い集落の皆さんも嬉しそうでした。また人手も多く、予定より早く終わることができ、集落の皆さんも喜んでいました。

コロナ禍の影響

皆さんは、今年のお盆はどうのように過ごされましたか？ 帰省の自粛により、町外にいる家族になかなか会えていない人もいるかと思えます。県内でも新型コロナウイルス感染症の感染者が急増しており、まだまだ収まる心配がありません。

県をまたぐ移動の自粛のため、武蔵野美術大学生らによる地域活動も延期を余儀なくされました。また、8月18日に開催を予定していた極入集落の大聖歓喜天は中止となり、2年続けて開催できなかったことはとても残念です。なかなか思うようにいかないことが多く、新型コロナウイルスが各活動にもたらす影響は計り知れません。

町では、順次、新型コロナウイルスワクチン接種が実施されています。一日でも早く安心して活動できる日が来ることを願っています。